



MESSAGE NOTES

霊的賜物を惜しみなく使う

ペテロの手紙 第一 4:10

ブラウン・ジェームズ

1. 他の人のために

ペテロの手紙 第一 4章10節 それぞれが賜物を受けているのですから、神の様々な恵みの良い管理者として、その賜物を用いて互いに仕え合いなさい。

人にはそれぞれ長所と短所があります。人それぞれに得意なことも異なります。霊的賜物とは、神から与えられた個人的な才能や能力です。様々な種類の賜物がありますが、いずれも私たちのために与えられるものではありません。それらはすべて、他の人々を愛し、他の人々に仕えるために与えられるのです。

2. 賜物を最大限に生かす

マタイの福音書 25章29節 だれでも持っている者は与えられてもっと豊かになり、持っていない者は持っている物までも取り上げられるのだ。

私たちの霊的な賜物と能力は、他の人を助け、愛するために使うことによって磨かれています。私たちの賜物の可能性が最大限に発揮されるのはそのような時です。一方で、自分のためだけに生き、与えられた賜物を人のために用いなければ、賜物は磨かれることなく、拡大していくこともありません。そして最終的には枯れてしまいます。

3. 預言者、祭司、王

ヨハネの黙示録 1章5、6節 私たちを愛し、その血によって私たちを罪から解き放ち、また、ご自分の父である神のために、私たちを王国とし、祭司としてくださった方に、栄光と力が世々限りなくあるように。アーメン。

旧約聖書の時代、預言者、祭司、王は、この地上での働きを成就させるために、神によって油注がれた役職でした。この3つの役割について考えることで、自分の本当の霊的賜物を見つけ出し、さらに、人々に仕えるあなたにどのような働きを神様が望んでおられるのかを知るヒントになるかもしれません。